

2017年3月22日  
日興アセットマネジメント株式会社



## スマート・ラップ・ジャパン (毎月分配型)

### 2017年3月決算と運用者のコメント

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ご愛顧いただいております「スマート・ラップ・ジャパン (毎月分配型)」は、2017年3月21日に決算を行ないました。当ファンドでは、基準価額水準や市況動向等を勘案した結果、今決算において、分配金を引き上げることといたしましたので、お知らせいたします。

また、次ページに「運用担当者のコメント」も掲載しておりますので、併せてご覧ください。

	スマート・ラップ・ジャパン (毎月分配型)
当期 (2017年3月) の分配金 (税引前、1万口当たり)	20円
前期 (2017年2月) の分配金 (税引前、1万口当たり)	10円
基準価額 (税引前分配金控除後、1万口当たり) 2017年3月21日	10,740円

今後の分配金額につきましても、当ファンドの収益分配方針に基づいて決定してまいります。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

以上

- 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や、分配を行なわないこともあります。
- 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

## 運用担当者からのコメント

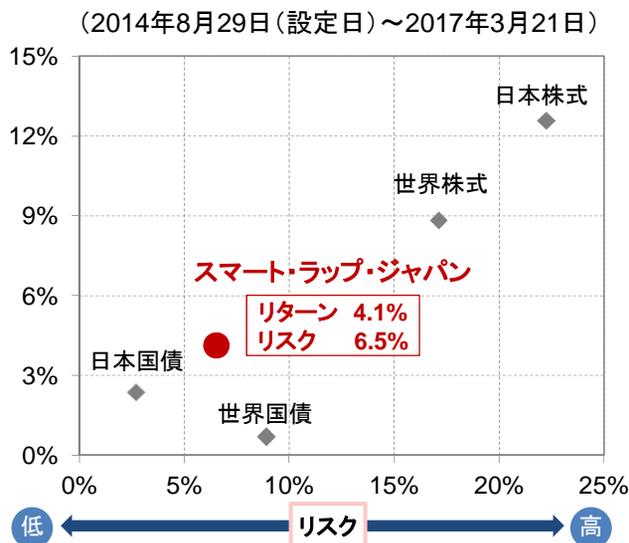
### 2017年のパフォーマンスは堅調に推移

- 当ファンドの年初来のパフォーマンスは引き続き堅調に推移しています。長期金利や株価に方向性が見出しにくい環境のなか、J-REIT、社債及びソブリン国債が僅かにマイナスとなる一方、日本株式とコモディティ（金）がプラスに寄与し、ファンド全体のリターンはプラスとなっています。
- また、大型株と比較して価格変動が大きい中小型株の資産配分を抑制したことが、良好なリスク調整後リターンに繋がっていると考えられます。
- 今後については、日本株式がバリュエーション面で投資妙味が増していると考えます。これまで保守的な資産としてキャッシュを嗜好してきましたが、基本的なスタンスは変わらないものの、昨年末からの金利上昇（価格下落）を踏まえ、ソブリン国債に対する見方について再評価する時期にきていると考えています。
- 引き続き、市況や各国のファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）などを勘案し、インカム収入の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

【当ファンドの基準価額の推移】



【当ファンドと各資産のリスク・リターン水準】



※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の、分配金は税引前のそれぞれ1万口当たりの値です。  
 ※スマート・ラップ・ジャパンのリスク・リターンは、税引前分配金再投資ベースの基準価額をもとに計算しています  
 ※リターンは上記期間の各指数の日次騰落率の平均を年率換算し、リスクは上記期間の各資産の日次騰落率の標準偏差を年率換算したものです。  
 ※税引前分配金再投資ベースとは、分配金(税引前)を再投資したもとして算出した理論上のものである点にご留意ください。  
 ※各資産に使用したインデックスは、後述の「当資料で使用したインデックスについて」をご参照ください。  
 ※信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

上記は、当ファンドの資産配分および投資信託証券の選定の助言を行なっている日興アセットマネジメント アジア リミテッドからのコメントをもとに日興アセットマネジメントが作成しています。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## ファンドの特色

### 1 日本の様々な資産を中心に投資し、 日本経済の成長に沿った収益の獲得をめざします。

- 主として、日本の資産(債券、株式、不動産、商品(金などのコモディティ)・その他)を投資対象とします。  
※一部、外貨建て資産に投資を行なう場合がありますが、為替変動リスクを回避するため、原則として、為替をフルヘッジした資産に投資します。
- 日本の資産および為替をフルヘッジした外貨建て資産に投資を行なうため、実質的に為替変動リスクはありません。  
※為替ヘッジにより為替変動リスクが完全に排除されるとは限りません。

### 2 市場環境などに応じて効率的な資産配分を行ないます。

- 市場環境の変化や各資産の基準価額変動への影響度合い、および市場見通しなどを勘案し、資産配分を調整します。  
※リスク抑制のため、各資産の組入比率を引き下げ、キャッシュ比率を引き上げる場合があります。
- 投資対象とする投資信託証券の選定や組入比率については、日興アセットマネジメント アジア リミテッドからの助言をもとに、日興アセットマネジメント株式会社が行ないます。

### 3 毎月、収益分配を行なうことをめざします。

- 毎月20日(休業日の場合は翌営業日)を決算日とし、毎決算時に収益分配を行なうことをめざします。  
※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行なわない場合もあります。

市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

## 受賞のお知らせ



**スマート・ラップ・ジャパン(毎月分配型)は  
モーニングスター社の選定によるアワード**

Morningstar Award "Fund of the Year 2015"  
(ファンドオブザイヤー2015)の「バランス(安定成長)型 部門」において  
**「最優秀ファンド賞」を受賞しました。**

Morningstar Award "Fund of the Year 2015"は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc. に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量分析、定性分析に基づき、2015年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。バランス(安定成長)型 部門は、2015年12月末において当該部門に属するファンド280本の中から選考されました。

## 当資料で使用了インデックスについて

当資料で使用了各資産のインデックスは以下の通りです。

- 日本国債: NOMURA-BPI総合
- 世界国債: シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)
- 日本株式: TOPIX(東証株価指数、配当込)
- 世界株式: MSCIワールドインデックス\*(配当込、米ドルベース)

\*公表されている原指数を円換算して使用

上記指数に関する知的財産権その他の一切の権利は各指数の公表企業などに帰属します。  
また、指数公表企業などは指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

※上記はいずれも当ファンドのベンチマークではありません。

## 収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

### 投資信託で分配金が支払われるイメージ

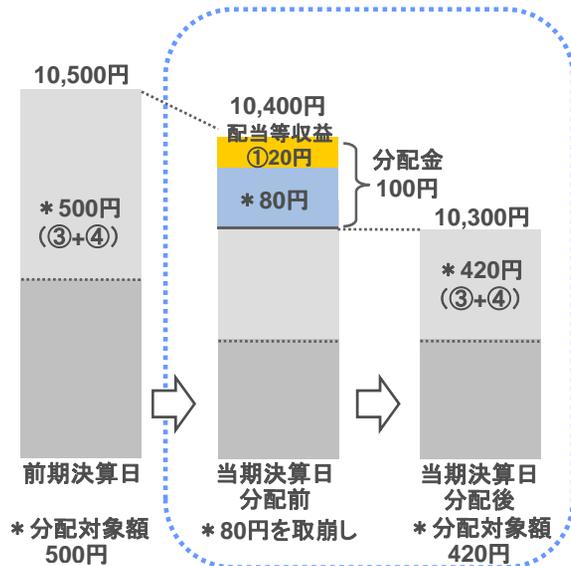
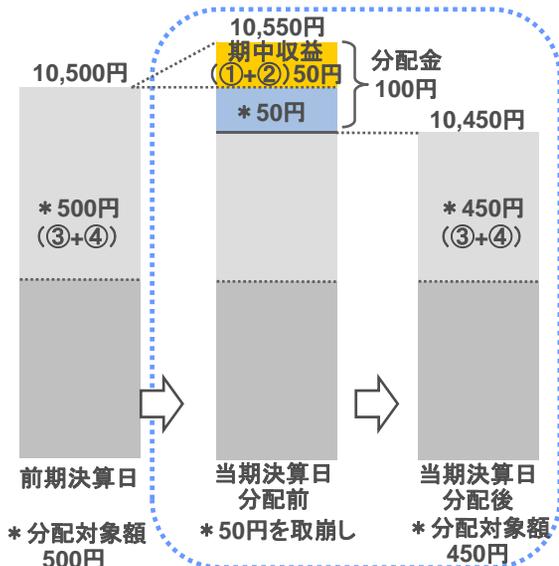


- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

### 計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

#### 前期決算から基準価額が上昇した場合

#### 前期決算から基準価額が下落した場合



(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

#### 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

#### 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は**非課税扱い**となります。

**普通分配金** : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

**元本払戻金 (特別分配金)** : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

## お申込みに際しての留意事項

## ●リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様には帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に債券、株式、不動産投信およびコモディティ連動証券を実質的な投資対象としますので、債券、株式、不動産投信およびコモディティ連動証券の価格の下落や、債券、株式および不動産投信の発行体の財務状況や業績の悪化、不動産、商品(コモディティ)の市況の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【有価証券の貸付などによるリスク】【空売りによるリスク】

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

## ●その他の留意事項

- ◆ 当資料は、投資者の皆様には「スマート・ラップ・ジャパン(毎月分配型)」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- ◆ 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- ◆ 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- ◆ 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様には帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡しますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

## お申込メモ

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
ご購入単位	購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
ご購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	2028年7月20日まで(2014年8月29日設定)
決算日	毎月20日(休業日の場合は翌営業日)
ご換金代金のお支払い	原則として、換金請求受付日から起算して7営業日目からお支払いします。

## 手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

## ＜お申込時、ご換金時にご負担いただく費用＞

購入時手数料	購入時手数料率は、3.24%(税抜3%)を上限として販売会社が定める率とします。 ※分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

## ＜信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用＞

信託報酬	純資産総額に対して年率1.4742%(税抜1.365%)以内を乗じて得た額が実質的な信託報酬となります。信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率1.296%(税抜1.2%)、投資対象とする投資信託証券の組入れに係る信託報酬率が年率0.1782%(税抜0.165%)以内となります。受益者が実質的に負担する信託報酬率(年率)は、投資対象とする投資信託証券の組入比率や当該投資信託証券の変更などにより変動します。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
その他費用	目論見書などの作成・交付および計理等の業務にかかる費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、 <u>ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額</u> が信託財産から支払われます。 組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息、立替金の利息および貸付有価証券関連報酬(有価証券の貸付を行なった場合は、信託財産の収益となる品貸料に0.54(税抜0.5)を乗じて得た額)などについては、その都度、信託財産から支払われます。 ※組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。

※当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、 日本証券業協会
投資顧問会社	日興アセットマネジメント アジア リミテッド
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ]http://www.nikkoam.com/ [コールセンター]0120-25-1404(午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社阿波銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第1号	○		
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第6号	○		
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○	○
おかやま信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第19号	○		
株式会社香川銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第7号	○		
株式会社第三銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第16号	○		
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○		
株式会社東京都民銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第37号	○	○	
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○		
株式会社北越銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第48号	○	○	
ほくほくT.T証券株式会社	金融商品取引業者	北陸財務局長(金商)第24号	○		
株式会社北海道銀行	登録金融機関	北海道財務局長(登金)第1号	○	○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○
株式会社三重銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第11号	○		
株式会社宮崎銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第5号	○		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○

(50音順、資料作成日現在)